

# 学習課題(小学校6年生)



## 【国語】

### 〈学習内容〉

#### ◆「伝えられてきた文化」(教科書158~159ページ)に取り組みます。

- (1) 教科書158~159ページの文章を読み、「狂言・能・歌舞伎・人形浄瑠璃(文楽)」の特徴について、ノートや取組シートにまとめましょう。
- (2) それぞれの芸能について、知りたくなったことや見てみたいと思った物について、社会の教科書(歴史編)やパソコンなどを活用し調べ、ノートや取組シートにまとめましょう。

・何時代に始まったのかな？平安？室町？？  
・「茶道」の「千利休」みたいに有名な人物はいるのかな？



#### ◆「カンジー博士の漢字学習の秘伝」(教科書160~161ページ)に取り組みます。

- (1) 教科書160~161ページを読み、学習の進め方を確認しましょう。  
「秘伝その一からその三」までに着目し、それぞれの秘伝を意識しながら、教科書に書いている例文をノートや取組シートに書きましょう。

・秘伝その一 演奏がじょうたつする。 ⇒ ( ? )

秘伝を使って漢字を書くと、どんなよさがあるかな？



・秘伝その二 郵便局が遠くて便りを出すのが不便だ。

⇒ ( ? )

・秘伝その三 生産の拡大をこころみる。 ⇒ ( ? )

- (2) 「究極の秘伝」を確かめ、161ページの問題 1~3に取り組み、ノートや取組シートに書きましょう。

#### ◆「漢字の広場4」(教科書162ページ)に取り組みます。

- (1) 教科書162ページの絵を見て、「テレビ局で見学したこと」について、「家の人に分かりやすく伝える文章」を書きます。その前に、教科書に出てくる言葉について、意味が分からぬ場合は、辞典などで意味を調べましょう。

- (2) 教科書の言葉を使い、例文を参考に、絵に合った文章をノートや取組シートに書きましょう。(5年生までに習った漢字を、意味を考えながら正しく使えるとよいですね。)

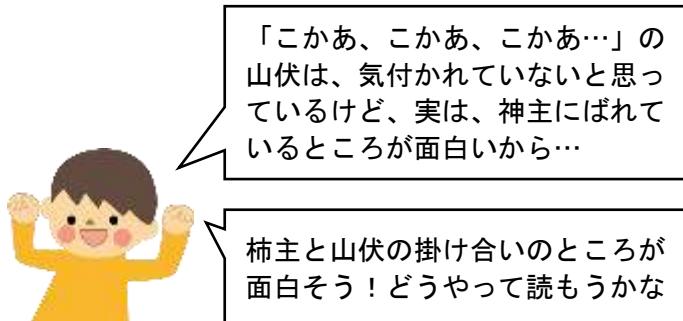
右の例は、上下でどこが違うかな？この例のように、絵を見ていない人に、「わかりやすく」伝える文章にしよう！

スタジオでは、国際情勢をテーマにした番組をさつえいした。

第一スタジオでは、貿易に関する国際情勢をテーマにした番組をさつえいしていました。

◆「狂言 柿山伏」（教科書163～173ページ）と、「『柿山伏』について」（教科書174～175ページ）に取り組みます。

- (1) 教科書163～173ページの「狂言 柿山伏」の文章を読み、狂言の特色に着目して、自分が面白いと感じたところを書き出して、その理由もノートや取組シートに書きましょう。
- (2) 教科書174～175ページの「『柿山伏』について」を読みましょう。文章を読んで、昔の人のものの見方や感じ方を知り、狂言の楽しみ方を広げましょう。
- (3) このお話は、「音読」することで、よりお話の世界を身近に感じたり楽しんだりすることができます。音読に向けて、登場人物である「山伏」と「柿主」の人物像について考えましょう。それぞれがどんな人物なのか、教科書の文とそこから分かれる人物像を合わせて、ノートや取組シートにまとめましょう。
- (4) 場面を3つ（①165ページ～166ページ下段9行目、②166ページ下段10行目～170ページ4行目、③170ページ5行目～173ページ）に分け、自分が面白いと思う場面について、表現の工夫を考えて、音読しましょう。



- (5) 音読を終えて、狂言や昔の人のものの見方・感じ方について考えたことを、ノートや取組シートに書きましょう。

特に気をつけたいせりふ	演じる役
山伏・柿主	演じる役
どのような工夫をするか	演じる場面
①・②・③	①・②・③

◆「カンジー博士の漢字学習の秘伝」「狂言 柿山伏」で学習する予定の新出漢字（「奏」～「退」）を練習します。（読み方や書き順などは303～304ページに載っています。）

＜保護者による関わり方のポイント＞

- ・教科書P159に掲載されているQRコードから、さまざまな古典芸能の資料（外部サイト）を見ることができます。また、文部科学省「子供の学び応援コンテンツリンク集」に掲載されているNHK for schoolサイトで「狂言」「歌舞伎」で検索すると関連する動画を視聴することができます。「伝えられてきた文化」や「狂言 柿山伏」の学習で御活用ください。